

# 方針書

## ～ 企業理念 ～

経営の安定と社員の幸せを通して地球環境の保全と快適で安全な街づくりに貢献する

## ～ 基本方針 ～

1. 顧客・事業領域の拡大と組織力の強化を図り、業績の向上を目指す。
2. 優れた労働環境を追究し、社員の幸福度の向上を目指す。
3. 先進技術や独自技術を開発し、技術力の向上を目指す。
4. 社会貢献活動を通じて、信頼される企業を目指す。

## ～統合マネジメント方針～

当社の基本方針に基づき、顧客及び社会のニーズに応えるために以下の事項を実行する。

- 1) 顧客の課題や要望を把握し、コンサルタントとして顧客と共に改善や解決を行う。
  - 顧客の事業の健全な継続のために、積極的に支援する。
  - 成果やサービスの品質を高め、顧客満足度の向上に努める。
- 2) 様々な環境の変化をチャンスとして捉え、新しい発想で市場競争力強化を図る。
  - 社会情勢の変化や技術動向を注視し、新規分野に積極的に取り組む。
  - リーダーシップを発揮する能力、付加価値の高い提案能力のある人材を育成する。
  - 情報や技術の共有が容易な環境を維持し、業務の効率化を図る。
- 3) 企業活動自体がSDGs(持続可能な開発目標)の取り組みであることを自覚し、業務を行う。
  - 安全で安価な水道の確保、また、地球環境の改善や汚染防止につながるよう、環境に配慮した設計を推進する。
  - 激甚化する災害に対応した、安心・安全な街づくりに貢献する。
- 4) 作業環境、就業環境及び組織体制を適切に整備し、働きやすい環境を構築する。
- 5) 仕事にかかわる法令及び企業として守るべき法令等を順守する。
- 6) 社会、顧客及び当社の事業運営に係るリスクを判断し、適切な対応を図る。
- 7) 成果品、環境及び情報セキュリティの改善のために、決めた手順を順守する。
  - 定期的に業務の評価を実施し、自主的に作業方法や手順の見直しを行う。
  - 顧客情報の管理をはじめ、社内外の情報セキュリティを計画的に向上させる。
- 8) 資産や環境を適正に利用できるように、教育・訓練・啓蒙活動を継続して実施する。

当社は、ISO規格(AMS、QMS、EMS、ISMS及びISMSクラウド)に準拠した、独自の統合マネジメントシステム(TMS)を構築しており、企業活動の運用や改善に活用している。

2024年5月1日  
日本水工設計株式会社  
代表取締役社長 細洞 克己